

調査結果の概要



1 学校調査

(1) 小学校

ア 学校数

学校数は462校(本校449校、分校13校)で、前年に比べ3校減少した。これは、奥津、川上小学校(美杉村)、井戸小学校瀬戸分校(熊野市)が廃止されたことによる。また、伊勢地小学校(美杉村)は美杉南小学校に校名変更した。(表1)

表1 小学校の設置者別学校数

	総数			国立	公立			私立
	計	本校	分校	本校	計	本校	分校	本校
昭和50年	470	436	34	1	468	434	34	1
55	459	439	20	1	457	437	20	1
60	464	447	17	1	462	445	17	1
平成元	462	448	14	1	460	446	14	1
2	461	447	14	1	459	445	14	1
3	463	449	14	1	461	447	14	1
4	465	451	14	1	463	449	14	1
5	462	449	13	1	460	447	13	1
対前年比較	-3	-2	-1	0	-3	-2	-1	0

イ 学級数、児童数

学級数は4,928学級で、前年に比べ27学級減少した。その内訳をみると、75条の学級が13学級増加したのに対して、単式学級が31学級、複式学級が9学級減少した。なお、単式学級が全学級数に占める割合は91.8%で、前年に比べて0.1ポイント減少した。

児童数は131,631人(男67,250人、女64,381人)で、前年に比べ1,633人減少した。1学級当たりの児童数を学級編制方式別にみると、単式学級28.8人、複式学級9.8人、75条の学級1.9人となっており、前年と比べるといずれの学級でも低下している。

(表2)

表2 小学校の学級編制方式別学級数、児童数

単位(児童数:人)

	総数			単式学級			複式学級			75条の学級		
	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数
昭和50年	4,823	147,873	30.7	4,560	145,984	32.0	88	923	10.5	175	966	5.5
55	5,327	167,768	31.5	5,055	166,088	32.9	66	685	10.4	206	995	4.8
60	5,253	160,038	30.5	4,916	158,228	32.2	82	892	10.9	255	918	3.6
平成元	4,968	138,780	27.9	4,589	137,036	29.9	99	1,085	11.0	280	659	2.4
2	4,988	136,719	27.4	4,598	134,997	29.4	100	1,076	10.8	290	646	2.2
3	4,969	134,829	27.1	4,582	133,198	29.1	96	1,022	10.6	291	609	2.1
4	4,955	133,264	26.9	4,553	131,620	28.9	99	1,044	10.5	303	600	2.0
5	4,928	131,631	26.7	4,522	130,143	28.8	90	885	9.8	316	603	1.9
対前年比較	-27	-1,633	-0.2	-31	-1,477	-0.1	-9	-159	-0.7	13	3	-0.1

ウ 教員数

本務教員数は7,460人(男2,920人、女4,540人)で、前年に比べ5人(0.1%)増加した。

本務教員数の男女の比率は、男子39.1%、女子60.9%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの児童数は、17.6人となり前年に引き続き減少している。

(表3)



(2) 中学校
ア 学校数

学校数は191校(本校188校、分校3校)で、前年と変わらなかった。(表4)

表3 小学校の本務教員数

単位(教員数・児童数:人、割合:%)

	総数	男	女	女子教員の占める割合	教員1人当たりの児童数
昭和50年	6,421	2,918	3,503	54.6	23.0
55	7,314	3,252	4,062	55.5	22.9
60	7,464	3,353	4,111	55.1	21.4
平成元	7,305	3,133	4,172	57.1	19.0
2	7,379	3,088	4,291	58.2	18.5
3	7,404	3,020	4,384	59.2	18.2
4	7,455	2,971	4,484	60.1	17.9
5	7,460	2,920	4,540	60.9	17.6
対前年比較	5	-51	56	0.8	-0.3

表4 中学校の設置者別学校数

	総数			国立		公立			私立	
	計	本校	分校	本校	分校	計	本校	分校	本校	分校
昭和50年	196	187	9	1		188	179	9		7
55	184	180	4	1		175	171	4		8
60	190	186	4	1		180	176	4		9
平成元	191	188	3	1		180	177	3		10
2	190	187	3	1		179	176	3		10
3	190	187	3	1		179	176	3		10
4	191	188	3	1		180	177	3		10
5	191	188	3	1		180	177	3		10
対前年比較	0	0	0	0		0	0	0		0

イ 学級数、生徒数

学級数は2,183学級で、前年に比べ53学級減少した。学級編制方式別にみると、75条の学級が9学級増加したのに対し、単式学級は62学級減少している。また、75条の学級の全学級数に占める割合は6.1%で、前年に比べ0.6ポイント増加している。

生徒数は71,463人(男36,627人、女34,836人)で、前年に比べ2,576人(3.5%)減少した。また、1学級当たりの生徒数は単式学級34.7人、75条の学級2.4人であった。(表5)

表5 中学校の学級編制方式別学級数、生徒数

単位(生徒数:人)

	総数			単式学級			75条の学級		
	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数
昭和50年	1,942	70,636	36.4	1,853	70,124	37.8	89	512	5.8
55	1,977	72,259	36.5	1,886	71,827	38.1	91	432	4.7
60	2,333	86,685	37.2	2,216	86,183	38.9	117	502	4.3
平成元	2,366	82,103	34.7	2,251	81,769	36.3	115	334	2.9
2	2,335	78,717	33.7	2,225	78,397	35.2	110	320	2.9
3	2,296	76,333	33.2	2,180	75,991	34.9	116	342	2.9
4	2,236	74,039	33.1	2,112	73,716	34.9	124	323	2.6
5	2,183	71,463	32.7	2,050	71,149	34.7	133	314	2.4
対前年比較	-53	-2,576	-0.4	-62	-2,567	-0.2	9	-9	-0.2

ウ 教員数

本務教員数は、4,432人（男2,600人、女1,832人）で、前年に比べ20人減少した。

本務教員数の男女の比率は、男子58.7%、女子41.3%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの生徒数は16.1人で、前年に引き続き減少している。（表6）

表 6 中 学 校 の 本 務 教 員 数

単位（教員数・生徒数：人、割合：％）

	総 数	男	女	女 子 教 員 の 占 め る 割 合	教 員 1 人 当 り の 生 徒 数
昭和50年	3,584	2,403	1,181	33.0	19.7
55	3,770	2,366	1,404	37.2	19.2
60	4,388	2,757	1,631	37.2	19.8
平成元	4,503	2,767	1,736	38.6	18.2
2	4,524	2,720	1,804	39.9	17.4
3	4,527	2,685	1,842	40.7	16.9
4	4,452	2,621	1,831	41.1	16.6
5	4,432	2,600	1,832	41.3	16.1
対前年比較	-20	-21	1	0.2	-0.5

(3) 高等学校（通信制は除く）

ア 学校数

学校数は81校で前年と変わらなかった。

課程別にみると、全日制64校（公立51校、私立13校）、定時制4校（公立3校、私立1校）、併置校13校（公立11校、私立2校）となっている。（表7）



表 7 高 等 学 校 の 設 置 者 別 学 校 数

	総 数	公 立						私 立				
		計	本 校			分 校			計	本 校		
			全 日 制	定 時 制	併 置	全 日 制	定 時 制	全 日 制		定 時 制	併 置	
昭和50年	71	57	40	4	11	2	—	14	9	1	4	
55	75	60	44	4	10	2	—	15	12	1	2	
60	78	63	47	4	10	2	—	15	12	1	2	
平成元	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
2	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
3	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
4	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
5	81	65	50	3	11	1	—	16	13	1	2	
対前年比較	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	

イ 生徒数

生徒数は72,231人（男36,450人、女35,781人）で、前年に比べ2,214人（3.0%）減少した。設置者別では、公立が57,289人で79.3%（4年80.2%）を占め、私立は14,942人で20.7%（4年19.8%）となっており、私立の占める割合が前年よりも少し高くなっている。

課程別では、全日制が70,967人で98.3%（4年98.2%）を占め、定時制は1,264人で1.7%（4年1.8%）となっている。（表8）

表 8 高等学校の生徒数

単位：人

	総 数			本 科								専攻科	別 科
	計	全日制	定時制	計	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他		
昭和50年	63,507	59,911	3,596	63,432	39,027	2,192	7,093	8,178	377	5,548	1,017	65	10
55	68,746	66,450	2,296	68,656	45,294	2,285	6,749	7,773	403	5,132	1,020	78	12
60	73,206	71,368	1,838	73,113	50,497	2,283	6,999	7,940	411	3,958	1,025	80	13
平成 元	79,172	77,442	1,730	79,052	55,225	2,399	7,013	8,025	412	3,783	2,195	110	10
2	78,937	77,291	1,646	78,832	55,213	2,414	7,158	7,651	415	3,715	2,266	105	-
3	77,422	75,981	1,441	77,317	54,414	2,328	7,082	7,359	387	3,485	2,262	105	-
4	74,445	73,111	1,334	74,340	52,416	2,231	6,924	7,102	360	3,062	2,245	105	-
5	72,231	70,967	1,264	72,119	51,162	2,185	6,790	6,883	326	2,580	2,193	112	-
公立	57,289	56,139	1,150	57,197	36,954	2,141	6,790	6,745	326	2,580	1,661	92	-
私立	14,942	14,828	114	14,922	14,208	44	-	138	-	-	532	20	-
対前年比較	-2,214	-2,144	-70	-2,221	-1,254	-46	-134	-219	-34	-482	-52	7	-

表 9 高等学校の本務教員数

単位 (教員数・教員1人当たりの生徒数：人、割合：%)

ウ 教員数

本務教員数は、4,376人(男3,380人、女996人)で、前年に比べ15人(0.3%)増加した。

設置者別では、公立が3,616人(男2,805人、女811人)で82.6%(4年82.6%)を占め、私立が760人(男575人、女185人)で17.4%(4年17.4%)となっている。

また、本務教員1人当たりの生徒数をみると、総数では16.5人(4年17.1人)、公立は15.8人(4年16.6人)、私立は19.7人(4年19.4人)となっている。(表9)



	総 数	男	女	女子教員の 占める割合	教員1人当た りの生徒数
昭和50年	3,462	2,812	650	18.8	18.3
55	3,684	2,943	741	20.1	18.7
60	4,004	3,207	797	19.9	18.3
平成 元	4,315	3,421	894	20.7	18.3
2	4,411	3,476	935	21.2	17.9
3	4,383	3,457	926	21.1	17.7
4	4,361	3,412	949	21.8	17.1
5	4,376	3,380	996	22.8	16.5
公立	3,616	2,805	811	22.4	15.8
私立	760	575	185	24.3	19.7
対前年比較	15	-32	47	1.0	-0.6

(4) 盲学校、聾学校、養護学校

学校数は、盲学校1校(公立)、聾学校1校(公立)、養護学校16校(国立1校、公立14校、私立1校)で、養護学校は前年に比べ1校増加している。これは、度会養護学校尾鷲分校(尾鷲市)が新設されたことによる。

在学者数は、盲学校44人、聾学校85人、養護学校867人で、前年に比べ聾学校は2人、養護学校は23人減少したが、盲学校は変わらなかった。

また、本務教員数は、盲学校41人(公立)、聾学校60人(公立)、養護学校596人(国立28人、公立556人、私立12人)であった。(表10)

表10 盲学校、聾学校、養護学校の学校数、在学者数、本務教員数

単位 (在学者数・教員数：人)

	盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数
昭和50	1	100	35	1	176	54	4	455	117
55	1	106	40	1	160	52	9	854	302
60	1	81	39	1	112	49	9	949	339
平成 元	1	76	38	1	91	51	11	966	405
2	1	69	40	1	80	51	11	951	442
3	1	51	40	1	92	58	15	934	521
4	1	44	43	1	87	61	15	890	562
5	1	44	41	1	85	60	16	867	596
対前年比較	0	0	-2	0	-2	-1	1	-23	34

(5) 幼稚園

ア 幼稚園数

幼稚園数は277園で、前年に比べ3園増加した。これは、辰水、高宮、長野幼稚園（美里村）、コスモス幼稚園（桑名市）が新設され、中部幼稚園（四日市市）が廃止されたことによる。

設置者別にみると、国立1園（0.4%）、公立212園（76.5%）、私立64園（23.1%）となっている。私立をさらに設置者別にみると、学校法人57園（89.1%）、宗教法人7園（10.9%）となっている。（表11）

イ 園児数

園児数は25,053人で、前年に比べ564人（2.2%）減少した。設置者別では、国立が148人で0.6%、公立は11,532人で46.0%、私立は13,373人で53.4%となっている。（表11）

ウ 教員数

本務教員数は1,512人（男51人、女1,461人）で、前年に比べ28人増加した。本務教員1人当たりの園児数は16.6人で、前年に比べ0.7人減少している。また、本務教員のうち、女子の占める割合は96.6%であった。（表11）

表11 幼稚園の園数、学級数、園児数、本務教員数

	園 数			学 級 数	園 児 数			本 務 教 員 数
	総 数	国・公立	私 立		総 数	男	女	
昭和50年	243	193	50	864	26,846	13,745	13,101	1,120
55	261	208	53	982	29,005	14,730	14,275	1,371
60	270	211	59	945	25,524	12,958	12,566	1,373
平成元	272	211	61	1,017	26,188	13,274	12,914	1,447
2	274	212	62	1,005	26,174	13,263	12,911	1,469
3	273	211	62	1,027	25,685	13,060	12,625	1,470
4	274	211	63	1,022	25,617	13,129	12,488	1,484
5	277	213	64	1,017	25,053	12,797	12,256	1,512
対前年比較	3	2	1	-5	-564	-332	-232	28

エ 就園率

平成5年3月の幼稚園修了者（義務教育就学年齢に達したため卒園した者）は12,462人で、前年に比べ388人減少した。

就園率（小学校1年生のうち幼稚園を修了した者の割合）は59.9%で、前年より低下している。（表12）

$$\text{就園率} = \frac{\text{前年度修了者}}{\text{小学校1年生}} \times 100$$



表12 就園率

単位（小学校1年生・前年度修了者：人、就園率：%）

	小学校1年生	前年度修了者	就園率
昭和50年	26,492	11,096	41.9
55	29,001	18,879	65.1
60	24,147	15,054	62.3
平成元	21,979	13,516	61.5
2	22,427	13,620	60.7
3	21,806	13,189	60.5
4	21,115	12,850	60.9
5	20,808	12,462	59.9
対前年比較	-307	-388	-1.0

(6) 専修学校

学校数は42校で、全体の校数は前年と変わらなかった。その内訳は国立が3校、公立が1校、私立が38校となっている。

生徒数は、5,435人（男2,231人、女3,204人）で、前年に比べ249人減少した。

課程別にみると、専門課程が3,006人で55.3%と最も多く、ついで高等課程の2,297人で42.3%、一般課程の132人で2.4%などとなっている。

教員数は、本務者が388人で前年に比べて24人減少し、兼務者が977人で68人減少した。（表13、表14）

表 1 3 専修学校の学校数、生徒数、教員数

単位(生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和51年	22	1	1	20	3,490	486	3,004	206	280
55	25	4	1	20	3,450	368	3,082	242	554
60	34	4	2	28	3,642	593	3,049	276	907
平成 元	41	4	2	35	5,451	1,944	3,507	357	990
2	41	4	2	35	6,138	2,455	3,683	366	991
3	42	3	2	37	5,624	2,389	3,235	408	952
4	42	3	1	38	5,684	2,514	3,170	412	1,045
5	42	3	1	38	5,435	2,231	3,204	388	977
対前年比較	0	0	0	0	-249	-283	34	-24	-68

(注) 1. 専修学校制度は、昭和51年から。

2. 昭和51年の学校数(国立)には、文部省以外の省庁が設置した学校を含んでいない。

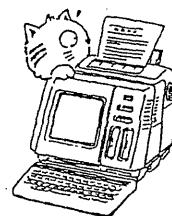


表 1 4 専修学校の課程別生徒数

単位:人

	総 数			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数	5,435	2,231	3,204	328	6	322	166	14	152	4,941	2,211	2,730
高 等 課 程	2,297	1,601	696	-	-	-	-	-	-	2,297	1,601	696
専 門 課 程	3,006	600	2,406	328	6	322	166	14	152	2,512	580	1,932
一 般 課 程	132	30	102	-	-	-	-	-	-	132	30	102

(7) 各種学校

学校数は150校で、前年に比べ6校減少した。これは、私立学校において6校廃止されたことによる。

生徒数は9,548人(男3,586人、女5,962人)で、前年に比べ294人減少した。生徒数の男女の比率は男子37.6%、女子62.4%で、前年に比べ男子の比率がわずかに上昇している。

教員数は、前年に比べ本務者が469人で10人減少し、兼務者が401人で18人減少した。(表15)

表 1 5 各種学校の学校数、生徒数、教員数 単位(生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和50年	222	1	9	212	21,806	5,014	16,792	872	1,248
55	186	—	6	180	15,340	5,110	10,230	609	804
60	169	—	4	165	12,155	4,205	7,950	532	449
平成元	164	—	4	160	10,702	3,762	6,940	494	410
2	160	—	3	157	10,473	3,744	6,729	498	441
3	157	—	3	154	10,076	3,639	6,437	494	386
4	156	—	3	153	9,842	3,561	6,281	479	419
5	150	—	3	147	9,548	3,586	5,962	469	401
対前年比較	-6	—	0	-6	-294	25	-319	-10	-18

2 卒業後の状況調査

(1) 中 学 校

ア 卒 業 者



平成5年3月の卒業者は25,693人(男13,053人、女12,640人)で、前年に比べ422人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者(就職して進学した者を含む。)は24,888人で全体の96.9%、就職者は537人で2.1%、専修学校等入学者(就職して入学した者を含む。)は149人で0.6%、その他(無業者、死亡、不詳)は119人で0.5%となっている。(表16)

イ 進 学 者

進学者は24,888人で、前年に比べ456人減少した。進学率をみると96.9%となり、前年より0.1ポイント低下した。また、高等学校本科通信制課程への進学者(487人)を除く進学率は95.0%であった。(表16)

表 1 6 中 学 校 の 進 路 別 卒 業 者 数

単位(卒業者:人、進学率・就職率・構成比:%)

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校等 入学者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率		就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)	(A)	(A)から通 信制課程を除 く	
昭和50年	23,203	21,325	...	1,108	770	340	...	91.9	...	6.2
55	25,616	23,870	692	945	109	190	36	93.2	...	4.6
60	27,231	25,269	714	1,095	153	240	27	92.8	92.5	5.0
平成元	29,994	28,077 (380)	872	872	173	201	11	93.6	92.3	3.6
2	29,026	27,352 (617)	742	777	155	207	6	94.2	92.1	3.4
3	27,317	26,025 (283)	531	654	107	124	11	95.3	94.2	2.9
4	26,115	25,344 (693)	142	533	96	119	3	97.0	94.4	2.5
5	25,693	24,888 (487)	149	537	119	117	8	96.9	95.0	2.6
構 成 比	100.0	96.9	0.6	2.1	0.5	—	—	—	—	—

$$(C) + (E) + (F)$$

(注) 1. 就職率 = $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総 数}} \times 100$

2. () 内の数字は、高等学校本科通信制課程への進学者で内数である。

3. 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも100.0%にならない。

ウ 就職者（進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者は 662人（男 414人、女 248人）で、前年に比べ 7人増加した。就職率は 2.6%で、前年に比べ 0.1ポイント上昇した。
（表 1 6）

就職先を産業別にみると、第 2 次産業が 285人で全体の 43.1%を占めて最も多く、ついで第 3 次産業が 232人で 35.0%、第 1 次産業が 127人で 19.2%、その他が 18人で 2.7%となっている。（表 1 7）

また、就職先を県内と県外に分けてみると、県内への就職者は 597人で 90.2%を占めており、前年に比べると 2.7ポイント上昇した。（表 1 8）

表 1 7 中学校の産業別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総数	第1次産業	第2次産業	第3次産業	その他
昭和50年	1,448	82	797	537	32
55	1,171	43	675	412	41
60	1,362	28	735	550	49
平成元	1,084	36	566	434	48
2	990	52	495	411	32
3	789	89	400	285	15
4	655	89	336	213	17
5	662	127	285	232	18
構成比	100.0	19.2	43.1	35.0	2.7

表 1 8 中学校の県内県外別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総数	県内	県外
昭和50年	1,448	1,161	287
55	1,171	949	222
60	1,362	1,190	172
平成元	1,084	948	136
2	990	862	128
3	789	696	93
4	655	573	82
5	662	597	65
構成比	100.0	90.2	9.8

(2) 高等学校（通信制は除く）

ア 卒業者



平成 5 年 3 月の卒業者は 25,040 人（男 12,547 人、女 12,493 人）で、前年に比べ 787 人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者（就職して進学した者を含む。）は 9,655 人で 38.6%（4 年 36.5%）、就職者は 9,232 人で 36.9%（4 年 39.7%）、専修学校等入学者は 5,181 人で 20.7%（4 年 20.1%）、その他（無業者、死亡、不詳）は 972 人で 3.9%（4 年 3.7%）となっている。（表 1 9）

イ 進学者

進学者は 9,655 人で前年に比べ 232 人増加した。進学率をみると 38.6%となり、前年より 2.1ポイント上昇した。進学先別にみると、大学学部が 6,159 人（男 3,626 人、女 2,533 人）、短期大学本科が 3,434 人（男 169 人、女 3,265 人）等となっている。（表 1 9）

表 1 9 高等学校の進路別卒業者数

単位（卒業者：人、進学率・就職率・構成比：%）

	総数	進学者 (A)	専修学校等 入学者 (B)	就職者 (C)	その他 (D)	再 掲		進 学 率	就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)		
昭和50年	19,472	6,613	...	9,739	3,120	141	...	34.0	50.7
55	20,467	6,355	2,568	9,991	1,553	68	121	31.0	49.7
60	18,603	5,633(-)	2,904	9,053	1,013	43	147	30.3	49.7
平成元	23,528	7,713(5)	4,467	9,961	1,387	28	206	32.8	43.3
2	25,149	8,202(3)	4,883	10,514	1,550	30	189	32.6	42.7
3	25,331	8,874(10)	4,610	10,449	1,398	25	176	35.0	42.0
4	25,827	9,423(6)	5,179	10,266	959	44	118	36.5	40.4
5	25,040	9,655(5)	5,181	9,232	972	31	117	38.6	37.5
構成比	100.0	38.6	20.7	36.9	3.9	-	-	-	-

(注) 1. 就職率 = $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総数}} \times 100$

2. () 内の数字は、大学・短期大学の通信教育部への進学者で内数である

3. 構成比は個々の数値ごとに四捨五入したため、合計は必ずしも 100.0%にならない。

ウ 就職者（進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者は 9,380人（男 4,891人、女 4,489人）で、前年に比べ 1,048人減少した。就職率は37.5%で、前年より 2.9ポイント低下した。（表19）

就職先を産業別にみると、第3次産業が 4,649人で49.6%、第2次産業が 4,614人で49.2%などであった。（表20）

また、これを職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業者及び労務作業者が 3,489人で37.2%を占め、ついで事務従事者が 2,490人で26.5%、サービス職業従事者が 1,079人で11.5%などとなっている。

就職先を都道府県別にみると、県内が 7,273人で77.5%となっているが、県外では愛知県 1,330人（14.2%）、大阪府 343人（3.7%）、東京都 111人（1.2%）など 2,107人で22.5%であった。県外への就職者の割合は、前年より 2.4ポイント低下している。（表21）

表 2 0 高 等 学 校 の 産 業 別 就 職 者 数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	第 1 次 産 業	第 2 次 産 業	第 3 次 産 業	そ の 他
昭和50年	9,880	189	4,022	5,659	10
55	10,180	142	3,972	5,931	135
60	9,243	104	4,775	4,264	100
平成元	10,195	48	5,195	4,846	106
2	10,733	31	5,668	4,945	89
3	10,650	27	5,423	5,041	159
4	10,428	36	5,315	4,976	101
5	9,380	29	4,614	4,649	88
構成比	100.0	0.3	49.2	49.6	0.9

(注) 就職者には、進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含んでいる。

表 2 1 高 等 学 校 の 県 内 県 外 別 就 職 者 数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	県 内	県 外				
			計	愛 知 県	大 阪 府	東 京 都	そ の 他
昭和50年	9,880	6,845	3,035	1,813	645	141	436
55	10,180	7,278	2,902	1,837	563	97	405
60	9,243	6,753	2,490	1,434	449	96	511
平成元	10,195	8,012	2,183	1,408	373	99	303
2	10,733	8,357	2,376	1,506	407	108	355
3	10,650	8,100	2,550	1,613	409	172	356
4	10,428	7,830	2,598	1,546	442	173	437
5	9,380	7,273	2,107	1,330	343	111	323
構成比	100.0	77.5	22.5	14.2	3.7	1.2	3.4

(注) 就職者には、進学して就職している者、専修学校等に入学して就職している者を含んでいる。